

静岡県漁業協同組合連合会
1064 静岡市追手町 9-18
15.10.17 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 平成15年度漁協運動功労者42名が決定

JF全漁連では、漁協運動功労者表彰審査委員会を開催し、本年度の漁協運動功労者42名の表彰を決定しました。

本県関係では、先に本会並びに県信漁連より推薦した戸田漁協組合長小林稲雄氏が多年に亘り組合運営を通じて、その事業・組織の強化、発展に尽力し、また漁協系統団体の要職にあって、信用及び経済、共済等系統事業の推進に積極的に取組み本県漁業の振興と漁業系統組織の育成・強化に貢献した功績が認められ受賞が決まりました。

なお、表彰式、祝賀会は11月21日(金)東京・虎ノ門パストラルで行われる予定です。

2. 平成15年度テングサ共販入札会終了 取扱数量は去年の約半分

本会の平成15年度天草共販事業は、去る10月8日開催の第7回入札会(うち2回中止)をもって終了しました。なお、今回の入札結果及び本年度の取扱累計は次のとおりです。

第7回：数量 = 13,435kg(545本)、取扱金額 = 17,304千円、平均単価 = 12,862円(10kg当たり)、最高入札価格 = 大川・稲取、まくさ(粗) = 17,890(10kg当たり)

取扱累計：数量 = 47,240kg・1,901本(対前年比：49,245kg・1,974本減)、取扱金額 = 67,481千円(同18,217千円減)、平均単価 = 14,284円(同5,403円高)

本年の取扱数量は去年の約半分となりましたが、平均単価は昨年を大幅に上回ったため取扱高はこれを一部カバーし21%減にとどまりました。

3. 漁船保険事務担当者研修会開催される

県漁船保険組合(佐藤吉明組合長)では、去る10月9日ブケ東海静岡において、平成15年度漁船保険事務担当者研修会を開催し、漁協担当職員等54名が出席しました。

研修会では、漁船登録事務に係る協力依頼について県水産資源室久保山主査より説明が行われるとともに、中部運輸局主催による船舶測度講習が11月11日(火)浜名漁協を会場に開催される旨の報告があり参加要請がありました。

引続き、同組合飯塚業務課長代理、堀住業務主任より、保険金請求手続きに関する注意事項及びロスレシオ(保険成績)について夫々説明があり、その後、漁船保険中央会船舶審査部機関審査課古田課長より、漁船保険事故の処理と支払について説明が行われました。続いて、同中央会賠償審査部小林部長より、油濁事故・賠償請求の為の初期対応及び高額対人賠償事故例について説明が行われました。

4. 全国豊かな海づくり推進協議会発足

全国沿岸漁業振興開発協会(全振協)では、国の沿岸漁業振興策として、栽培漁業の推進、回遊魚種の産卵・放流の技術開発を進めてきました。しかし、水産基本法で資源の持続的利用が明示されるとともに漁港漁場整備法で漁港と漁場の一体的整備が指摘され、さらに自然再生法で環境に対する配慮が強調され、もう一段大きな展開が求められることになり、種苗生産と資源管理、漁場管理が一体となって行われ得る、ハードとソ

フトの両方を兼ね備えた機能が求められるようになってきました。

こうした社会的要請を受け、全振協組織の衣替えを行うこととなり、10月9日「全国豊かな海づくり推進協会」が設立され、同会長にJF全漁連植村正治会長が就任しました。

全国豊かな海づくり推進協議会の事業目的は、国の水産施策に呼応し、水産動植物の増殖及び養殖の推進、水産動植物の生育環境の保全及び改善、水産資源の適切な保存管理及び都市と漁村の交流の実践のため、作り育てる漁業の推進を柱とする事業の展開を図ることにより、水産物の安定供給の確保ならびに水産業の発展および漁村の振興、すなわち豊かな海づくりを積極的に推進することとしています。

同協会の事業内容は、豊かな海づくりの推進に関する調査、研究 豊かな海づくりの推進に関する支援、指導 豊かな海づくりに関する研修、啓発・普及 豊かな海づくりに関する共通施策の検討、取りまとめ、提案 全国豊かな海づくり大会の推進 などとなっています。

5. 駿河湾深層水商品フェア開催される

駿河湾深層水利用者協議会(村松善八会長)では、去る10月4日ツインメッセ静岡において「駿河湾深層水商品フェア」を開催し、駿河湾深層水の利用企業や団体で作る同協会会員の33社が参加して、釜揚げシラス、蒲鉾、黒はんぺん、カツオ角煮、カツオめし、桜えびご飯、化粧品、塩、飲料用の駿河湾深層水などブランドマーク使用商品を主体に、バラエティーに富んだ海洋深層水利活用商品を展示、即売しました。

また、県水産振興室も同フェアに出展し、駿河湾深層水のパネル展示などを行い一般市民にPRを行いました。

6. 「漁協経営基盤強化推進基金のしくみ」パンフレット作成

大日本水産会とJF全漁連では、「漁協経営基盤強化推進基金のしくみ」のパンフレットを作成しました。このパンフレットは、合併などを行う漁協の財務改善を図るため、必要な借り入れに要する経費について金利負担を軽減するため、大日本水産会に基金を造成し、利子助成金を交付する「漁協経営基盤強化推進基金造成費事業」の内容が、今年度から一部拡充・変更になったことに伴い、漁協などへその内容を周知し、活用を図るために作成されたものです。

変更内容は金利助成の対象を漁協組織緊急再編対策事業・金利補給事業への上乗せ助成へ一本化(「漁業近代化資金」への助成は取りやめ)、利子助成対象期間を平成14年度から17年度まで3年間延長するほか、これまで末端金利が1.5%以下では活用できなかったものが、末端金利0.6%まで活用することが可能となり、強化された内容です。

7. 諸会議日程(10月21日(火)～11月3日(月))

- 既報分省略 -

10月27日(月)～28日(火) 県漁連 = 監事会 (本部・出先)

10月28日(火) 県漁連 = 漁協組合長会議実行委員会 (県水産会館)

〃 県信漁連 = 第5回理事会 (〃)

〃 県沿岸漁業振興協会 = 役員会 (〃)

10月29日(水) 県漁連 = 海の子フェスタ2003第2回幹事会 (〃)

11月1日(土) 県おさかな普及協議会 = 第2回おさかな料理コンクール (鈴木学園)